

南奥駆道（古屋の辻から東屋岳）の巡視・整備

◇実施日…2020年3月29日（日） 雨後曇り

◇参加者…志岐敬、梶野照雄

2名

29日に予定されていた行仙宿から持経宿までの巡視は雨予報のため延期されたが、雨は午前中に止むようなので、志岐さんを誘って前回残した東屋岳・21世紀の森間の巡視・整備を行った。



朝9時に道の駅十津川郷に到着、まだ小雨が降っていた。暫く休憩して雨雲レーダーを見ると、9時40分頃に雨雲が通過して、その後の降雨が無い事が確認できた。9時10分に道の駅を出発。R

425をゆっくり進む、途中の清納の滝に寄り道。雨の後なので水量が多く迫力のある滝の姿が見られた。国道沿いにはあちこちに山桜が咲いて目を楽しませてくれる。

30分ほどで21世紀の森に到着、石柱のある登山口まで林道が上がった。ダメもとで上がってみたが、池郷林道と比べると舗装道路の様な状態で、落石や陥没も無くスムーズに上がることが出来た。以後、この登山口を利用するときは、ここまで車で上がるようにしたい。



登り始めて15分で古屋の辻到着。雨は完全に止んでいた。塔の谷峠手前で最初の倒木が現れた。直径10cmほど物で、3分位で処理を終える。

貝吹之野までの急な登りも、日差しが無く気温も低いので、殆ど汗をかくことなく登ることが出来た。

貝吹之野から香精山までは倒木の連続で、どこで何本切ったか、よ

く覚えていない。帰り道に切った本数を数えたら、全部で13本切っていた。

香精山で昼食、座って食事していると逆峰縦走者が一名通過した。横浜在住で前鬼から入山、持経宿で泊って今日は玉置神社でテント泊、本宮を目指すそうだ。この人以外に順峰登山者を志岐さんが目撃したそうだ。



頃まで明るいので、十分間に合うと思っていたが、なんとか明るいうちにスポーツ公園に到着した。スポーツ公園の桜は、ほぼ満開。新型コロナウイルス対策で桜まつりのイベントは中止されたが、10台ほどの車が停車して花見をしていた。屋台も数軒並んでいたが、この程度の人出では採算割れだろう。

今日の行程は植林の尾根が続いているのに、思いのほか倒木が多く、一ヶ所の処理に3分かかったとすると、40分位が処理作業時間となる。先日の笠捨山越えは標高が高いのに倒木は少なかった。標高の高さと倒木の発生は関係がなさそうだ。

新型コロナウイルス対策の外出自粛要請が効いているのか、国道を走っている車の数は普段の日曜日の半分以下で、吉野までは朝6時頃と同じ時間で帰ることが出来た。

(記：梶野、写真：梶野、志岐)

行動タイム

21世紀の森 09:50→11:15 塔の谷峠→11:23 貝吹之野→12:45
香精山→14:20 四阿之宿→15:45 塔の谷峠→16:35 21世紀の森
→17:35 スポーツ公園

香精山と東屋岳の間も倒木があり、その都度チェーンソーで切除した。檜之宿跡、拝み返しを経て東屋岳に着いたのは午後2時を過ぎた。少し休憩してすぐに引き返す。

帰り道は、切った木を数えるだけで、チェーンソーを下ろすことは無く、行きは4時間強かかった距離を、2時間ちよつとで下りきった。

道中の桜がきれいに咲いていたので、池原の桜も咲き揃っているだろうと思う、R425を下北山方向へ向かった。最近、午後6時